

『一神教学際研究』(JISMOR) 論文募集要項

2024 年 7 月 1 日改訂

1. 本誌は年 1 回(3 月頃)、電子ジャーナルとしてオンライン上で刊行します。
同志社大学学術リポジトリおよび同志社大学一神教学際研究センターのウェブサイトで公開します。
2. 応募できるのは、一神教学際研究センターのリサーチ・フェローである者、もしくはリサーチ・フェローのうち 1 名以上が推薦する者です。
3. 応募原稿に対しては査読を行い、編集委員会が掲載の可否を決定します。
4. 原稿は、未発表のものに限ります(再録の場合は、該当機関より掲載の許可を得てください)。
5. 原稿の投稿締切は 2024 年 9 月末日です。
6. 原稿は Word 形式(下記テンプレート使用)と PDF 形式の二種類を作成し、電子メールに添付して投稿してください。
7. 原稿は規定の Microsoft Word テンプレートを使用してください。日本語のテンプレートでラテン・アルファベット、ヘブライ文字、ギリシア文字、アラビア文字を用いる場合は、“Times New Roman” 10 ポイントのフォントを使用してください。テンプレートは、一神教学際研究センター・ウェブサイトからダウンロードできます。(http://www.cismor.jp/jp/publication/)
8. 原稿での使用言語は、日本語および英語です。
9. 原稿は、横書きとします。
10. 分量は、以下のとおりです。
論文：日本語の場合、16,000～24,000 字
：英語の場合、6,000～9,000 words
研究ノート、書評、研究動向：日本語の場合、8,000 字以内
：英語の場合、3,000 words 以内
(図は字数に含まれませんが、チャートおよび表中の情報は字数に含まれます。)
日本語と英語の要旨およびキーワードは、字数に含まれません。
11. 1 ページ目に、表題、執筆者氏名、所属を記してください。論文または研究ノートの場合は、要旨(日本語 1,000 字程度、英語 500 words 程度)およびキーワード(5 語)も記してください。これらは日英両言語で記してください。
12. 注は、論文末に一括して掲げてください。参考文献については、注の中に記載する方式でも、稿末に参考文献表を掲載する方式(ハーバード方式)でも構いません。
13. 参考文献の出典を注の中に記載する場合、Chicago Manual of Style に依

拠し、次の様に記入してください。

Books

Joseph Blenkinsopp, *Sage, Priest, Prophet: Religious and Intellectual Leadership in Ancient Israel* (Louisville, Ky.: Westminster-John Knox Press, 1995), 20-50.

Edited books

Gary Anderson and Saul M. Olyan eds., *Priesthood and Cult in Ancient Israel* (Journal for the Study of the Old Testament Supplement Series 125; Sheffield, JSOT Press, 1991), 20-35.

Articles or chapters in a volume

Frank Moore Cross, “The Priestly Houses of Early Israel,” in *Constituting the Community: Studies on the Polity of Ancient Israel in Honor of S. Dean McBride, Jr.* (John T. Strong and Steven S. Tuell, eds., Winona Lake, Ind.: Eisenbrauns, 2005), 35-55.

Entries in a series volume

John F. Robertson, “The Social and Economic Organization of Ancient Mesopotamian Temples,” in *Civilizations of the Ancient Near East 1* (Jack Sasson et al eds.; New York: Scribner, 1995), 443-454.

Journal articles

Oliver Robert Gurney, “The Annals of Hattušili III,” *Anatolian Studies* 47 (1997), 127-139.

Journals/articles online:

Ada Taggar-Cohen, “Hittite Laws and Texts,” *Bible Odyssey* (date of access).
<http://www.bibleodyssey.com/places/related-articles/hittite-laws-and-texts.aspx>

同じ著者が 2 回以上現れる場合は、その氏名を再度フルネームで記入してください。

例：Frank Moore Cross, “The Priestly Houses of Early Israel,” pp. 20-25.

雑誌／シリーズの名称は略さずに記入してください。

日本語の著書・雑誌・新聞・論文の文献表記方法は、次の通りです。

著書

市川裕『ユダヤ教の精神構造』東京大学出版会、2004 年、50 頁。

ロバート・N・ベラー『社会変革と宗教倫理』河合秀和訳、未来社、1973 年、343 頁。

三木英・櫻井義秀編著『日本に生きる移民たちの宗教生活－ニューカマーのもたらす宗教多元化』ミネルヴァ書房、2012 年、215 頁。

堀江宗正責任編集『日本の宗教事情 国内編 I』（シリーズ「いま宗教に向き合う 1」）岩波書店、2018 年、111 頁。

日本海地誌調査研究会『人道の港敦賀－命のビザで敦賀に上陸したユダヤ人難民足跡調査報告－』日本海地誌調査研究会敦賀上陸ユダヤ難民足跡調査プロジェクトチーム、2007 年、35 頁。

共同訳聖書実行委員会『聖書 新共同訳』日本聖書協会、2018 年。

雑誌

基督教研究会『基督教研究』第 76 巻、第 2 号、同志社大学神学部、2014 年 12 月。

新聞

久保健一「曖昧な法学者統治；民主化実現の余地残す」（読売新聞 2009 年 2 月 12 日号所載）。

論文

市川裕「罪の赦しと父祖の徳－ユダヤ教『スリーホート』の祈り－」『筑波大学地域研究』第 6 号、筑波大学地域研究研究科、1988 年、260-261 頁。

小原克博「一神教と多神教をめぐるディスコースとリアルポリティーク」『一神教学際研究』第 2 号、同志社大学一神教学際研究センター、2006 年、13-14 頁、
<http://www.cismor.jp/uploads-images/sites/2/2014/02/d2c51acebf75bce1ecce270c28433c92.pdf>
(閲覧日)。

14. 稿末に参照文献表を掲載する方式（ハーバード方式）をとる場合、注意事項を踏まえた上で、下の例に則って記入してください。

【注意事項】

- ・外国語文献をアルファベット順に、その後、日本語文献を五十音順に配列してください。
- ・原則として、本文または注で言及された文献のみを記載してください。
- ・出典だけを示す注は付けず、下記の例の様に、本文中で文献を参照してください。本文中では「(編)」や「(ed.)」は省略します。

例：(Anderson and Olyan 1991, 20-35) （市川 1988; 小原 2006）

- ・副題、第 2 版以降の版番号は必須ですが、シリーズ名、原著書誌、邦訳書誌、複数出版地・出版社、刊年の西暦換算等を示すか否かは、執筆者が判断してください。

【記入例】

Book

Blenkinsopp, J. 1995: *Sage, Priest, Prophet: Religious and Intellectual Leadership in Ancient Israel*, Louisville, Ky.: Westminster-John Knox Press, 20-50.

Edited Books

Anderson, G. A. and Olyan, S. M. (eds.) 1991: *Priesthood and Cult in Ancient Israel*. Journal for the Study of the Old Testament Supplement Series 125; Sheffield: England JSOT Press.

Articles or chapters in a volume

Cross, F.M. 2005: "The Priestly Houses of Early Israel," in Strong, J.T. and McBride, S.D. (ed.) 2005: *Constituting the Community: Studies on the Polity of Ancient Israel in Honor of S. Dean McBride, Jr.*, Winona Lake, Ind.: Eisenbrauns.

Entries in a series volume

Robertson, J.F. 1995: "The Social and Economic Organization of Ancient Mesopotamian Temples," in Sasson, J. (eds.) 1995: *Civilizations of the Ancient Near East 1*; New York: Scribner, 443-454.

Journal articles

Gurney, O.R. 1997: "The Annals of Hattušili III," in *Anatolian Studies* 47, 127-139.

Journals/articles online

Cohen, A.T. "Hittite Laws and Texts," *Bible Odyssey* (date of access).
<http://www.bibleodyssey.com/places/related-articles/hittite-laws-and-texts.aspx>

市川裕 2004 : 『ユダヤ教の精神構造』 東京大学出版会.

ロバート・N・ベラー 1973 : 『社会変革と宗教倫理』 河合秀和 (訳), 未来社.

三木英・櫻井義秀 (編) 2012 : 『日本に生きる移民たちの宗教生活—ニューカマーのもたらす宗教多元化』 ミネルヴァ書房.

堀江宗正 (編) 2018 : 『日本の宗教事情 国内編 I』 シリーズ「いま宗教に向き合う 1」, 岩波書店.

日本海地誌調査研究会 2007 : 『人道の港敦賀—命のビザで敦賀に上陸したユダヤ人難民足跡調査報告—』 日本海地誌調査研究会敦賀上陸ユダヤ難民足跡調査プロジェクトチーム.

共同訳聖書実行委員会 2018 : 『聖書 新共同訳』 日本聖書協会.

雑誌

基督教研究会 2014 : 『基督教研究』 76-2, 同志社大学神学部.

新聞

久保健一「曖昧な法学者統治；民主化実現の余地残す」読売新聞, 2009 年 2 月 12 日号所載.

論文

市川裕 1988 : 「罪の赦しと父祖の徳—ユダヤ教『スリーホート』の祈り—」『筑波大学地域研究』 6, 筑波大学大学院地域研究研究科, 260-261.

小原克博 2006 : 「一神教と多神教をめぐるディスコースとリアルポリティーク」『一神教学際研究』 2, 同志社大学一神教学際研究センター, 13-14, <http://www.cismor.jp/uploads-images/sites/2/2014/02/d2c51acebf75bce1ecce270c28433c92.pdf> (閲覧日).

その他、不明な点がございましたら、編集委員会にお尋ねください。

15. ヘブライ文字、ギリシア文字、アラビア文字については、原語表記も認めます。その他のラテン・アルファベット以外の文字は、原則として、ラテン・アルファベットに転写し、かつ論文内で転写法を一貫させてください。

転写をする場合、可能な限り、Billie Jean Collins, project director, *The SBL Handbook of Style: For Biblical Studies and Related Disciplines*, second edition, Atlanta, Georgia: SBL Press, 2014 (以下 SBL)、第 5 章 (p. 55 以下) に準拠してください。ヘブライ文字については、SBL には、Academic Style と General-Purpose Style が掲載されていますが、投稿者の目的に応じて、どちらを用いてもかまいません (その他、コプト語、アッカド語、エジプト語、ウガリット語等の古代語の転写についても、SBL の使

用を推奨します)。

アラビア文字については、国内の投稿者は、可能な限り、大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』(岩波書店)に準拠してください。海外からの投稿者に対しては、とくに転写法を指定しませんが、アラビア語、ペルシア語、トルコ語の転写については、可能な限り、ALA-LC (Library of Congress) に準拠してください。

これらのガイドラインの入手が困難な場合は、編集委員会に連絡してください。

16. 原稿は刊行後 PDF ファイルにし、執筆者に提供いたします。

問い合わせ・提出先

同志社大学一神教学際研究センター事務室

E-mail: rc-issin@mail.doshisha.ac.jp